bluememe
MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS

PRESS RELEASE

2026 年 11 月 11 日
株式会社 BlueMeme

BlueMemeが参画する「九州大学INSIGHTプロジェクト」が産業・科学革新人材事業（INSIGHT）に採択

九州大学との共同研究のもと、生成AIおよび量子技術を活用したバイオメディカル情報解析基盤の開発と高度DX人材育成を推進

株式会社 BlueMeme（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：芦谷 乾太郎、以下 当社）は、当社が参画する九州大学を実施大学とする「九州大学 INSIGHT プロジェクト」が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が推進する「産業・科学革新人材事業（INSIGHT）」※1 の 2026 年度募集において採択されましたことをお知らせいたします。

当社は、本プロジェクトにおいて、長﨑 正朗教授（九州大学 生体防御医学研究所）が研究開発リーダーを務める研究開発課題に参画しています。

当社は本研究開発を通じて、九州大学 生体防御医学研究所 高深度オミクスサイエンスセンター バイオメディカル情報解析分野 長﨑研究室（教授：長﨑 正朗、以下 長﨑研究室）が有する先進的なゲノム・バイオメディカル情報解析技術や量子機械学習等の研究成果と、当社が強みとする開発技術（ローコード・アジャイル）および技術者育成の実績を融合いたします。これにより、ヒトゲノム等の機微性の高い、複雑なゲノム・オミクス・バイオメディカルデータを生成 AI 等の最新技術で安全かつ再現可能に解析できる「生成 AI 時代に対応したバイオメディカル情報解析基盤」の開発、ならびに研究開発成果を社会・事業価値へと迅速に転換する「生成 AI-Ready 型バイオメディカル DX 人材」の育成に取り組んでまいります。

産業・科学革新人材事業（INSIGHT）の概要

近年、先端技術分野における国際的な競争激化や少子化に伴う高度人材不足に対応するため、産業界とアカデミアが密に連携し、研究開発と人材育成を一体的に推進することが重要視されています。国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が推進する「産業・科学革新人材事業（INSIGHT）」は、クロスアポイントメント制度等を通じた人材流動の促進や大学の改革を通じ、持続的な研究開発・人材育成体制の構築を目指す事業です。

九州大学を実施大学とする本プロジェクトは、「産業育成を核として地域から世界へ」をスローガンに掲げ、大学の研究資源を産業界に開放し、AI 駆動型学際研究を通じた日本の競争力強化と世界水準の未来人材育成を推進するものです。

本研究開発課題の背景：バイオメディカル研究における課題と高度人材の必要性

近年、生成 AI をはじめとする先進技術の急速な進展に伴い、バイオメディカル研究では、専門知識を要する複雑な解析手順を「安全・再現可能・説明可能」な形で実装し、研究者や技術者が継続的に活用できる基盤へ転換することが重要となっています。

一方で、ヒトゲノムをはじめとする機微性の高いデータを扱う解析においては、「情報セキュリティ」「データガバナンス」「解析品質」「社会実装速度」のすべてを同時に満たす必要があり、現場の研究者や企業がこれらを安全に利活用するまでには、依然として大きな技術的・制度的制約が存在していました。さらに、こうした幅広い先端技術を深く理解し、研究成果の社会実装を迅速に推進できる高度人材の不足も深刻化しています。

当社は本プロジェクトにおいて、解析基盤の開発と高度 DX 人材の育成に取り組みます。

本研究開発課題の特徴と両者の強み

本研究開発課題は、長﨑研究室の研究基盤・解析技術と、当社の開発技術・人材育成の実績を組み合わせる点に特徴があります。九州大学は、研究データを安全に取り扱うための情報解析基盤「OASIS」を整備・運用しています。

また、長﨑研究室は、世界初となるヒト遺伝子を網羅するハプロタイプ辞書「JoGo」※2 をはじめとする多様なバイオメディカル情報解析データベースの開発に加え、量子機械学習等の先進的な情報解析技術の研究開発に取り組んでいます。これらの研究成果に、当社が培ってきたローコードおよびアジャイル開発、ならびに技術者育成の実績を組み合わせることで、研究成果の迅速な社会実装・サービス化を目指します。

当社にとって本研究開発課題は、「生成 AI 時代におけるローコード開発の高度化」と「研究開発成果を事業価値へ変換できる人材育成」を同時に進める取り組みです。本研究開発課題への参画を通じ、以下の 4 つの価値創出を目指します。

- 生成 AI／AI エージェント活用の新たな事業機会の探索
- 高付加価値領域に対応できるローコード人材の育成
- 大学の最先端研究成果を活かしたサービス・教育コンテンツの開発
- クロスアポイントメントを通じた産学双方での人材流動・OJT

今後の展望と主な取り組み

当社は本研究開発課題において、長﨑研究室とともに以下の取り組みを推進し、研究開発・実装・人材育成を一体化した体制を確立し、国費支援終了後も自律して継続するエコシステム構築を目指します。

- **生成 AI-Ready な解析基盤・AI エージェントの開発**
  ゲノム・オミクス解析の代表的なワークフローを対象に、データ前処理、解析実行、結果解釈、記録・再現性確保を支援するローコード部品および AI エージェントのプロトタイプを開発・実証します。
- **クロスアポイントメントを活用した段階的な人的交流の拡充**
  当社から大学へのクロスアポイントメントにより、要件定義からプロトタイプ開発を共同で実施します。その後、大学側人材の企業での受入れも組み合わせ、段階的に人材交流を拡充します。研究現場と開発現場を横断・往復する実践的な開発および相互育成体制を確立し、企業講師・大学教員の共同指導のもとで、人材へ実践的な研究開発経験の提供を目指します。
- **実践的教育プログラム・リスキリングの展開**
  博士後期課程学生や若手研究者等、大学の技術職員等にとどまらず、当社等の企業技術者、社会人を対象としたリスキリング講座やインターンシッププログラムを共同で開発し、準備が整ったプログラムから段階的に実施します。さらに、将来的な国際共同研究や海外研究者・企業技術者との協働を見据え、英語による研究発表・技術ドキュメンテーション、研究インテグリティ・研究セキュリティを含む実践的研修を設計し、国際的に活躍できるバイオメディカル DX 人材の育成を進めます。

当社は今後も、ローコード・アジャイル技術および最先端技術の知見を活かし、学術研究の発展と産業界への社会実装を両立させることで、日本の産業競争力強化に貢献してまいります。

※1 産業・科学革新人材事業（INSIGHT）
Web ページ： https://www.jst.go.jp/program/insight/index.html

※2 JoGo: Joint Open Genome and Omics Platform
https://jogo.csml.org/

本研究開発課題に関する九州大学担当
九州大学 生体防御医学研究所 高深度オミクスサイエンスセンター
バイオメディカル情報解析分野　教授　長﨑 正朗

株式会社 BlueMeme について
BlueMeme は、2012 年にローコード開発基盤「OutSystems」を日本で初めて導入し、日本のローコード開発市場を第一線でけん引してきました。2026 年 10 月時点、累計 180 社以上のローコード製品導入実績、5,500 件以上のローコードを活用したサービスの提供実績に加え、6,200 名以上の OutSystems の技術者の育成といった実績に基づき、アジア初の OutSystems プレミアパートナーに認定されています。当社では、独自の開発方法論「AGILE-DX」を用いて、アジャイルとローコード手法の効果的な運用を実現しています。今後も、最新技術を活用した次世代型の情報システム開発を通じて、破壊的な変革を乗り切るための DX を実現し、日本企業の国際的な競争力を向上させていきます。

社名 ：株式会社 BlueMeme
代表者 ：代表取締役社長　芦谷 乾太郎
所在地 ：東京都千代田区神田錦町 3-20
資本金 ：974,707,376 円（2026 年 9 月 30 日時点）
事業開始 ：2009 年 8 月（設立 2006 年 12 月・資産管理会社として設立後、前代表にて事業開始）
上場市場 ：東証グロース（証券番号：4069）
URL ：https://www.bluememe.jp/

報道関係者様からのお問い合わせ
BlueMeme（ブルーミーム）グループ広報事務局
TEL：0570-080-016　E-mail：webmk@bluememe.jp